



重誓寺報

第33号 平成27年10月発行

浄土真宗 本願寺派 (西本願寺) **重誓寺**
じゅうせいじ

大阪市旭区中宮2丁目4番19号
電話・FAX 06(6951)0090

古代大阪は、海岸線が平野部まで深く入り込み、上町台地が半島のよ
うに突き出し、その東に河内湾と呼ばれる内海が広がっていました。四
天王寺の西門に建つ鳥居の西近くまで難波の海がせまり、彼岸の中日
ある春分(秋分)の日には鳥居越しに真西の海に夕日が沈みました。平
安時代には、この夕日を拝し西方極楽浄土への往生を願う「日想観」
の中心地となりました。そして、四天王寺の西門がそのまま極楽の入り
口に当たるといわれ、多くの人びとが集ったのです。この浄土信仰から、
お彼岸の習慣が生まれたといわれています。

淀川や大和川の度重なる氾濫により土砂が堆積
し形成された大阪平野は、水害を受けやすい地形
でした。日本書記には、大規模な治水・利水事業
をはじめ、南北東西の道路を伸ばす土木工事が行
われた記事が多く見られ、人々が暮らしやすい土
地を求め、地形を改良していたことがうかがえま
す。

関東・東北では今年、大きな水害に見舞われま
した。鬼怒川という名前からしても、昔から荒々
しい水害の多い川だったのかも知れません。大阪
の歴史から見ても、私たちはあの姿を決して他人
事で済まさないようにしなければなりません。



2013年 台風18号後の淀川

法座のご案内

重誓寺では毎月、二十日

(三、九、十一月は二十日、二十一日)

法座が勤まります。

勤行約三十分、法話約一時間

椅子席でお参りいただけます。

常例法座

十月二十日(火)二時、七時

講師 三品唯典みしな ゆいてん師

親鸞聖人報恩講

十一月二十日(金)二時、七時

二十一日(土)二時、七時

講師 不死川しなずがわ浄師

常例法座

十二月二十日(日)二時、七時

講師 中西昌弘師

心に残った法話のお言葉

私たちの心は蛇やサソリのようなもので、見たもの聞いたものが口から毒となつて出てきます。その口からお念仏が出てくるといふのは、よほどのことであり、それが阿弥陀さまの働きなのです。

(七月 寺本正尚師)

ジャンケンの後出しで勝つことは簡単でも負けることは難しい。私たちは常に勝つことや楽することを望んでいます。しかし仏法は負けること、苦悩や苦しみの中にも大切なことを教えて下さるのです。

(六月 宏林晃信師)

浄土真宗のお寺は仏法を聞く道場です。各お寺では法座を開いています。



是非聞く機会を持って
お参り下さい。

お寺で法話をききましょう

— 浄土真宗 法座のご案内 —

「法座の時代をどう生きるか？」
「未生のやすら死は？」
「私たちのいのちの行末は？」

仏教の心に寄り添うお寺です。
浄土真宗のお寺は法話の道場です。
どうぞ、お機嫌にお参り下さい。

親鸞聖人 和讃の教え

ほんがんりき
本願力にあひぬれば

むなしくすぐるひとぞなき

くどく ほうかい
功德の宝海みちみちて

ほんのう じよくすい
煩惱の濁水へだてなし

(高僧和讃)

阿弥陀如来の本願のはたらきに出遇つたならば、人生が虚しく過ぎるといふことはありません。南無阿弥陀仏の海のようなはたらきに抱きとられて、煩惱だらけの私たちさえも南無阿弥陀仏の徳と一つになるのです。

浄土真宗では「遇う」という文字をしばしば使います。これはただ会うのではなく、本来巡り会うことが難しい大切なことに、多くのご縁に導かれて出遇うことが出来たという意味が含まれています。



お寺の掲示板にはよく標語が書かれていることがあります。

京都佛光寺の八行標語が注目され、それを集めたものが一冊の本として発行されました。仏教用語に限らず、日頃の生活の中でふと考えさせてくれる言葉が、綺麗な写真とともに紹介されています。その中で話題となった一つです。

ひと月待てた 手紙の返事

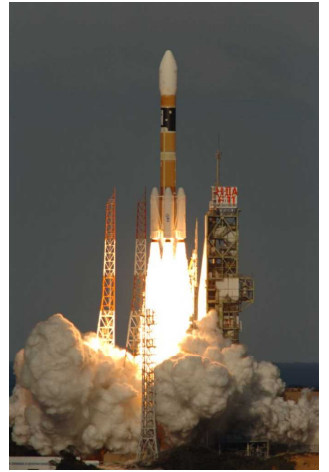
メールになって 一週間

LINEになって 一時間？

待てなくなってる せわしないね



『晴れてよし、降ってよし、いまを生きる 京都佛光寺の八行標語』
著：佛光寺
価格：1,400円 (+税)
発売：学研パブリッシング



八月十九日、種子島宇宙センターよりH2Bというロケットが打ち上げられ、見事成功しました。そこから

分離した「こうのとりの」という輸送船に物資を積み込み、国際宇宙ステーション（ISS）まで運ぶのが今回の目的です。

ISSは世界各国が共同で運用しており、地上から約四百キロ上空に建設された巨大な有人実験施設です。ISSには現在、日本人宇宙飛行士の油井亀美也氏が搭乗しており、油井氏がアームを使ってこうのとりをキャッチすると言うことにも注目が集まりました。

今まで、一度はこの打ち上げを実際に見てみたいと思っていたのですが、たまたま見つけた「打ち上げ見学ツアー」に申し込み、参加することになりました。

打ち上げ予定の十六日に種子島に向けて出発したのですが、荒天の為、発射が二度延期され、滞在中に打ち上げは実際に見ることが出来ませんでしたので、帰ってからインターネット中継で見ました。

いくら最先端の技術を結集したところで、天候には太刀打ち出来ないのが現実です。お陰で自然豊かな島内をゆっくりと観光させていただけました。

種子島の星空



重誓寺 HP <http://juseiji.net> E-mail info@juseiji.net

寺報はバックナンバーを含め、ホームページでご覧いただけます。

ご意見、ご質問等がありましたら、メールでもお寄せ下さい。